

Jiba



Libre リブレ

編集・発行
NPO法人日本バリアフリー協会 / 政策研究所
Japan Barrier-free Association
【事務局】〒102-0093 東京都千代田区平河町1-7-16-801
TEL:03-5215-1485 FAX:03-5215-1735 E-MAIL:info@npjba.org
URL:http://www.npjba.org

Contents

目次

1・2 代表コラム
3 NPO活動報告
告知掲載メディア
4・5 第9回ゴールドコンサート出場者決定!!
6 応募状況
7 ゲスト(嘉門 達夫様・麻倉 ケイト様)、審査員の紹介
8 ゲスト(NOKKO 様)、司会者の紹介
9 GC8 グランプリ受賞者(森 圭一郎様)の紹介
10 演出家からのメッセージ
11 ゴールドコンサート出場者関連イベント
12 第9回ゴールドコンサート協力者の皆様
13 第8回ゴールドコンサート協力者の皆様
平成23年度競輪補助事業完了のお知らせ
14 GC9 プレイメントのお知らせ
15 ボランティアスタッフ募集のお知らせ
16 第9回ゴールドコンサート 開催概要

GC = ゴールドコンサート

●アメリカから学ぶべきこと

ジュディ・ヒューマンさんとの再会 ●●●●

つい先日、米国国務省の高官、ジュディ・ヒューマン (=Judith Heumann) さんの講演を東京で聴きました。ジュディさんは、重度の障がいをもち車いすに乗っています。



代表理事
貝谷 嘉洋

私は、ジュディさんと20年来の知り合いです。私がカリフォルニアのバークレイ市に住み始めた頃です。当時はすでにアメリカ自立生活運動のリーダーとして有名で、20代前半の私にとって言葉を交わすことも貴重でした。

世界障がい者研究所 (=World Institute on Disabilities) に友人を訪ねたときにたまたまジュディさんがおられ、当時、障がい学生支援の論文を書いていた私に、ポイントを教えてくださいました。私がまだ英語もままならなく、手が不自由だと知った彼女が、メモを残しながらお話ししてくださったのはとても印象的でした。

今回の講演はご自身の体験をもとに、アメリカの障がい者の自立生活運動の歴史や、障がい者の権利を大きく認めたADA (=Americans with Disabilities Act) 法をいかに勝ち取ったかについてわかりやすく話してくれました。

最大のポイントは、退役軍人の団体や各障がい者団体の連携と団結が重要であるということでした。

「まだまだアメリカから学ぶことはたくさんあるな」

と改めて感じた時間でした。

さて、私がジュディさんと初めて会った頃から結局

アメリカで6年間在住し留学することになりました。そして、完全に帰国したのがもう12年前のことです。それから、NPO法人を立ち上げてずっと活動してきました。この間の活動は留学中に学んだことを礎にしているのは間違いありません。

今、アメリカでの6年の留学を通して学ぶべきことだと感じたことを改めて振り返りたいと思います。

障がい者の可能性 ●●●●●●●●●●●●●●●●

私が過ごしたのは、カリフォルニアのバークレイ市。留学をする前に一度だけ旅行をし、その魅力に取りつかれました。

当時、私は筋ジストロフィーのため母親にほぼつききりの介護をしてもらっていましたが、このバークレイ市では私よりもずっと重度な人が一人で自立生活をしていました。

一番学んだことは、

「障がい者の可能性は非常に大きい」

ということです。日本では障がいの出来ない部分や、制約に注目しますが、アメリカではできる部分や、可能性に注目するということです。

結果として、アメリカには障がいを持つジュディさんのような政府高官、経営者や弁護士やミュージシャンなどあらゆる分野で活躍している障がい者が日本よりも多くなっています。

自己決定と自己責任 ●●●●●●●●●●●●●●●●

さて、私は一度だけの旅行により大学卒業後、バー

クレイに単身渡り自立生活を始めます。

日本では、食事は黙っていても母親が出してくれたし、当時は派遣制度がなかったので介護者も母親以外には考えられませんでした。

進路については、障がいがあるので、一般の就職ではなく、資格を取って独立開業する道を複数の人から当然のように勧められ、実際にそれに向けて勉強していました。

また、日本では一般の人々も、あまり考えずに周囲が受験勉強をすれば自分もし、就職活動も周りに流されて何となくやるという傾向にあります。

アメリカでは、様々な人種や年齢、背景を持った人々が、それぞれ積極的に主張して自分で考えて行動しています。そうしないと、社会から取り残されてしまいます。

私の場合は、最初、トイレと食事の介護をしてくれる人を絶やさず確保することに精いっぱいでした。



留学中に住んでいた寮、ヘルパーさんとともに

ただ生活するだけでなく、同市にあるアメリカで最難関といわれるカリフォルニア大学の大学院への入学を目標としていたので、受験勉強をしないといけないういし、慣れない外国語を駆使して情報集めや書類作成をしなければなりませんでした。

どんなことでも自己決定をし、その結果には責任を持つということが、自然に身に付きました。

そうです。2つ目に学ぶべきことは、「自己決定と自己責任は重要である」です。

政府が国民に投資?? ●●●●●●●●●●

大学院は無事入学しましたが、言葉の壁は思ったよりも高く、あまり馴染めないまま何とか修了しました。そんな時に出会ったのがジョイスティック車でした。日本では、わたしほど重度の障がい者が運転することなど話題にも上らないほど、不可能なことだったので

ところが、アメリカではこのジョイスティック車を使えば、運転できるというのです。そんな夢のような話を聞いた私は、ジョイスティック車を購入し運転することにしました。また、その車を自身で運転しアメリカ一周をしました(写真)。



2000年ジョイスティック車でアメリカ一周中

このジョイスティック車から学ぶべきことは、「政府は国民に投資するというアイデアを持つべき」ということです。

ジョイスティック車の改造や運転教習にかかるコストは約1,000万円です。これをアメリカの連邦政府や一部の州政府は、就職を希望する障がい者に全額補助します。

これにより、障がい者は職場に自力で通うことができ、障害年金や生活保護に頼らなくなり、また一部の人は納税するので、政府に還流するというわけです。

アメリカでは細かく政策評価をしますが、車の改造や教習への補助はそういう意味では投資効果が高い政策のようです。もちろん、移動の権利は平等であるべきだという政治的な正当性もあります。

日本においては、障がい者に対する政府の支出は、コストや負担としてのみ捉えられていて、その政策によるリターンについては全く評価されていません。そして実際、車の改造や教習に補助される額は非常に限られています。

このように障がい者本人にとっても社会全体にとっても大きな利益をもたらす政策は取り入れられるべきで、政府は国民に投資することがまさに必要だと思います。

求められる当事者性 ●●●●●●●●●●

講演が終わったのち、ジュディさんと思い出話をしました。その中で「ジュディさんは20年前からほとんど変わらず、お若く見えますね。」(本音です)

と言いました。この様に呼んだ方がいるかは知りませんが、ジュディは正しく「自立生活の母」です。そして、その自立生活の母が、政府高官として活躍しているアメリカ社会はやはりすごいと思いますし、そのこと自体学ばなければならないことだと思います。「政策は当事者が深くかかわって決めるべきである」

ジュディさん、今後もアメリカのため、日本を含めた世界の障がい者のため力を貸してください。

NPO活動報告

2011年

GC=ゴールドコンサート

- 12月2日(金) GC5でビデオメッセージをいただいたデビット・サンボーンさんのライブ観賞および面談@ブルーノート東京
- 12月3日(土) GC 協賛者コヤマドライビングスクール主催 D'LIVE vol.8 視察@川崎 CLUB CITTA'
- 12月7日(水) NHK 主催の障がい福祉賞贈呈式に代表が審査員として出席@ NHK 放送センター
- 12月13日(火) GC 大忘年会@ノビルデューカ六本木 参加者 30名

2012年

- 1月13日(金) ダスキン「東京地域愛の輪 30周年感謝の集い」へ法人関係者参加@渋谷
- 1月16日(月) 日本経済人懇話会(GC 審査員長 湯川れい子氏の講演)に代表が参加@アジア会館
- 1月19日(木) GC9 総合企画会議(キックオフ) 参加者 36名
- 1月27日(金) 森圭一郎 GC8 グランプリ 受賞記念コンサート開催@六本木ノビルデューカ 参加者 56名
- 2月7日(火) 映画『季節、めぐり それぞれの居場所』法人関係者 鑑賞
- 2月21日(火) 第12回サポート講習会 講師:GC4 グランプリ「The J.B.'f」の友野龍士さん 参加者 9名
- 3月17日(土) いっぽ講演会で代表が講演@千代田区社会福祉協議会
- 3月21日(水) 第13回サポート講習会 講師:渡邊惟大氏 参加者 15名
- 4月12日(木) カルフォルニア大学バークレイ校主催講演会に代表が参加
- 5月9日(水) GC 協力企業アドビシステムズ株式会社のイベントでGC5 グランプリ 大石亜矢子さん演奏
- 5月26日(土) 杉並チャリフェス 2012 in 善福寺川緑地、GC7 グランプリ穴澤雄介さんが出演
- 6月3日(日) とっておきの音楽祭 2012 in 仙台、GC8 グランプリ 森圭一郎さんが出演 法人関係者参加
- 6月5日(火) GC9 総合企画会議 参加者 36名
- 6月24日(日) 岐阜県長良病院にて代表が講演

マスメディアによる 告知掲載、 放送のご紹介

■テレビ・ラジオ

- ・NHK 各局(札幌、釧路、山形、静岡、大津、京都、大阪、和歌山、神戸、広島、福岡、熊本、鹿児島、沖縄)
- ・MRT 宮崎放送
- ・レインボータウン FM

■新聞

- ・スポーツニッポン ・新潟日報 ・伊勢新聞 ・神戸新聞 ・宮崎日日新聞 ・琉球新報

■雑誌・機関誌など

- ・月刊ニューメディア 5月号 ・チェアウォーカー WaWaWa 2012 春号
- ・教育音楽 4月号 ・邦楽ジャーナル 4月号 ・月刊 Piano 4月号
- ・Go!Go! GUITAR 5月号 ・ミュージックトレード 4月号 ・WAHHO!
- ・クローバー(障がい者のための就職情報誌) 春号 ・難病と在宅ケア 4月号
- ・ノーマライゼーション 4月号 ・にっぺんデイジーマガジン 4月号 ・一日も早く 3月号
- ・福祉広報 4月号 ・ニュースレター ぶちあみ ・波
- ・働く広場 ・東京都聴覚障害連盟新聞 ・日本聴力障害新聞

※「リハビリテーション」にて代表がコラム連載中

■インターネット

- ・WAHHO! ・登竜門 ・全国コンテスト情報サイト「CONTEST」 ・COMPE NAVI
- ・週刊医学界新聞(学会・セミナー情報)

※法人が把握している告知放送、掲載のみを記載しています。

第9回ゴールドコンサート出場者決定！！

皆さまのご協力のもと、昨年に引き続き本年も東京国際フォーラムホールCにて9月22日(土・祝)に第9回ゴールドコンサートを開催する運びとなりました。今年の応募総数106件と昨年を上回る件数となり、今回も個性あふれる音源が届きました。ご応募いただいた皆さま、誠にありがとうございました。厳正な審査の結果選ばれた12組がエントリーし、海外からは韓国とデンマークから出場します。

特別ゲストにNOKKOさんをお迎えし、第8回ゴールドコンサート受賞者の森圭一郎さんとのコラボレーションも予定しております。皆さま、お誘い合わせの上、是非ご来場ください。お待ちしております。

※出演順ではありません

出場者名: storia 《ボーカル・ドラム》

曲名: かわらないもの

障がい: 発達 / 肢体

地域: 神奈川

応募者 PR ▶ 文字も言葉も音も全ては相対性の結晶。それでもそれらを使うしかない事を理解しなければならない。あせらずとまらずゆっくりと自分自身も少しでも何かの理解につながれば、と思いが歌をうたい、楽器を演奏しています。ポジティブバイアスに頼らずに、本当に「役」を全うする活動ができればと思い、応募させていただきました。



出場者名: 真北 聖子 《ボーカル ほか》

曲名: Sayang

障がい: 肢体

地域: 宮崎

応募者 PR ▶ 第2回ゴールドコンサートに応募した事をきっかけに、作曲・作詞を始め本格的な音楽活動を開始。現在は宮崎を中心に年50回本程度のLIVE活動を行う。音楽活動のかたわら地元MRT(宮崎放送)にてラジオパーソナリティとしても活動中。何度も応募し、何度も出場させていただきましたが、私が音楽を始めるきっかけとなった「ゴールドコンサート」の雰囲気が忘れられず、また今回応募致しました。

出場者名: 佐藤 英里 《ピアノ弾き語り》

曲名: 七色の夢

障がい: 視覚

地域: 新潟

応募者 PR ▶ 5歳の時に出会った美空ひばりさんの「川の流れるように」をきっかけに音楽活動を開始。7月に初めてのCDをリリース予定で義援金として売り上げを送ります。震災から1年がたち「みらい」を歌いにいろんな所へ行かせてもらいました。たくさんの方のつらいことを経験した方たち、悩んでいる方たち、生きていることが悲しくなってしまった人たちに、明日にむかって生きてもらいたく作った曲を聴いてもらいたく応募させていただきました。

出場者名: 古西 夜香 《ピアノ》

曲名: A列車で行こう

障がい: 視覚・肢体・知的

地域: 神奈川

応募者 PR ▶ 生まれつき全盲で四肢も短く車いすの生活をしている。2歳頃から自ら音を辿りキーボードを弾いて感性を磨く。全身から湧き出るビートは天性の者。障がいにより胡座を組んだ姿勢のため、ペダルに足が届かず演奏時には特別な補助ペダルを使用する。右膝でバスドラムのように椅子を叩きボイスパーカッションでハイアット、スネア等の音を入れながら全身一体の演奏をする。音楽の世界では僕は自由です！

出場者名: TOMOKO 《ボーカル》

曲名: ザマナイ～時代よ！～

障がい: 肢体・発達

地域: 東京

応募者 PR ▶ 全方位型ヴォーカリスト。ある日突然根元的と評される声で歌い始め、メジャーより支援を受ける。従来の発声で2005年自作曲「酉の市」で浅草鷲神社80万人規模の祭で神楽殿より正式に歌った史上初の歌手となる。2009年夏、カザフスタンの核実験場を閉鎖に導いた「ザマナイ～時代よ！」と衝撃的な出会いをし、日本語・英語化に着手。カザフ国民的歌手ローザ・ソムバエワさんとの3ヶ国語CDに参加(ヒロシマ・セミバラケンスプロジェクト)。

出場者名: YASUO 《ボーカル ほか》

曲名: INORI ～祈り～

障がい: 肢体

地域: 埼玉

応募者 PR ▶ 筋ジストロフィーの障害を持ちながら、介助者を使って一人暮らしをしています。病気の進行中、今しか歌う事が出来ない、障害を持っているからこそ出来ることもある。一人でも多くの人に何かを感じ、伝えられたらと思い、音楽活動を続けています。障がいを持っている私が歌う事で多くの人に何かを感じ伝えたいからです。

出場者名: 楽器アンサンブルユニット 音心 《オカリナ ほか》

曲名: カナリヤ

障がい: 視覚

地域: 静岡

応募者 PR ▶ 2008年結成。音心はオカリナの虜 えんじろうと、サポートピアニスト 亮子による結成4年目の楽器アンサンブルユニットです。まず自分たちが楽しく演奏。オカリナもピアノも主役。ジャンルの壁に囚われないという目標の元、活動しています。2012年2月にファーストアルバム「あなたへ」製作。飾らないオカリナの音色は、常に心と一体の嘘をつけない楽器だと感じています。素直なオカリナの音色の前には、障害も壁もない瞬間があると信じています。

出場者名：矢田 匠《ボーカル・アコースティックギター》

曲名：馬鹿息子

障がい：聴覚・内部

地域：北海道

応募者 PR ▶ 幼少よりピアノを習い片耳の聴力がないハンデを持ちつつも音楽活動をしています。学生時代にサウンドアーケードにてグランプリを受賞。仕事と平行しながら音楽活動を続けていましたがバセドー病を発症し、思うように歌えなくなりつつも少しでも似た境遇のかたに何か伝わればと思ひ、活動を続けてます。2007年にNHK全国放送で取り上げて頂き、翌年独立し音楽スタジオを経営。様々な方の音楽活動を応援させて頂いています。

出場者名：SAKURANBO《ボーカル・ギター ほか》

曲名：春一番が吹いたら

障がい：肢体

地域：東京

応募者 PR ▶ ヴォーカル・サイドギターの姉 aki とリードギター・コーラスの妹 SaFFy の姉妹 2 人組みのアコースティックデュオ。2002 年結成、2003 年オリジナル楽曲「風の上のもみじ」でデビュー。その後、2005 年にかけて、NHK 熱唱オンエアバトルの常連アーティストとなる。1st アルバム「春一番が吹いたら」をリリース。二人にとって音楽は、掛け替えのない人生の宝であり、音楽を奏でることが、私たちの使命だとも感じています。

出場者名：CHECK DoLL 《ボーカル》

曲名：ハッピーランナー

障がい：内部

地域：大阪

応募者 PR ▶ 2010年2月「愛」と「勇気」をテーマに男女ボーカルユニット CHECK DoLL 結成。生まれつきの心臓病を抱え、現在も身体障害者として認められている。男性ボーカル「Si-to」と幼い頃から重度のアトピーを持つ女性ボーカル「鳥生亜希」の2人組ユニット。大阪を中心にライブ活動や音楽を通じてのボランティア活動を積極的に行っている。自主制作によるCDを3枚発売し、ソコ時代を含めて販売数が累計3000枚を超える。

出場者名：式町 水晶 《ヴァイオリン》

特別
出場

曲名：リベルタンゴ

障がい：肢体

地域：東京

応募者 PR ▶ 5歳からプロのヴァイオリニストを目指し色々な場所で演奏させて頂く中で去年の東日本大震災においてボランティア演奏をさせていただきました。音楽の力で人をもっと幸せにしたいと思いたくさんの方に僕の演奏を聴いて元気になりたいと心から願っています。8歳の時に一度オリジナルで応募させて頂いたんですが、その時は駄目でした。今もプロを目指し頑張っています。

出場者名：4번출구《4番出口》

《ギター・ドラム・ボーカル ほか》

曲名：Amazing Lady

障がい：視覚

地域：韓国

応募者 PR ▶ 「4番出口」は、東洋では否定的な意味で捉えられている「4」を障害に比喻し、障害の絶望と苦痛から希望に向かって歩いて行こうということを意味します。2006年に結成され、70回以上の公演をし、公演文化芸術から疎外された人々を訪ね、希望を分かち合う「訪ねていく公演」を毎年7回以上実施しています。毎年、12月には慈善コンサートも活発に開くなど、様々な活動をしています。メンバー全員が1級の視覚障害者であり、我々は音楽活動を通して生活し、音楽を通して人々に希望を与えることを願っています。韓国の視覚障害者バンドとして、日本のゴールドコンサートに参加し、我々の音楽を聞かせることに大きな意味があると考えています。(翻訳：金 圓景)

出場者名：富岳太鼓竜神組《長胴太鼓 ほか》

特別
出場

曲名：富士の雷舞

障がい：知的・内部

地域：静岡

応募者 PR ▶ 私たちは施設を利用しながら、作業訓練や生活訓練を行い、社会自立を目標にしています。その中で、休日や余暇時間を使って太鼓の稽古をしています。その成果を発表する機会を少しずついただく事ができるようになりました。メンバーはみんな和太鼓が大好きで、もっともっと、練習を重ね、いつかは、和太鼓で社会自立ができるようになることを目標に、頑張っけて稽古をしています。

会報誌リブレ 28号 (2011年11月18日号)

お詫びと訂正

第8回ゴールドコンサート報告書(リブレ vol.28)に掲載しました内容に誤りがありました。

12頁 出場者の声

フラクタル・ショートケーキ「ふみみん(ボーカル、エレキベース)」「クッキー(ギター・歌・作詞・作曲)」「tomoki(ドラム、コーラス)」となっておりますが、出場曲『奇跡』はふみみんさん作詞で正しくは「ふみみん(作詞、ヴォーカル、エレキベース)」「クッキー(エレキギター・コーラス・作曲)」「tomoki(ドラム)」となります。

ご迷惑をおかけしました読者の皆様ならびに関係各位の皆様には深くお詫び申し上げます。

出場者名：D.W.S.《バンジョー・ギター・ボーカル ほか》

曲名：THE LETTER

障がい：精神 / 知的 / 発達

地域：デンマーク

応募者 PR ▶ この素晴らしいトリオバンドは、2011年よりデンマーク、ヨーロッパフェスティバル、そしてクラブで名前を知られるようになってきています。アコースティックギター、バンジョー、ラップ、コントラバスなど様々な楽器演奏と主ボーカルとハーモニボーカルがまるで一つであるかのように連動し曲を奏でます。これは見逃すべきではない、音楽の体験です。

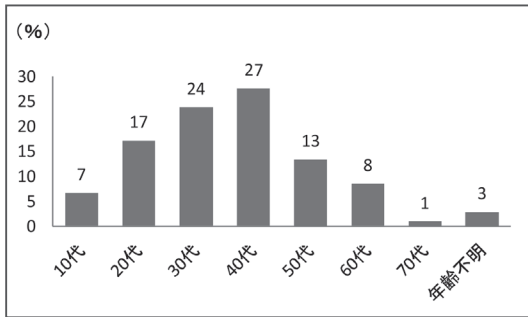
応募状況

2月1日～5月6日までの期間で106件の応募が寄せられました。ジャンルもポップからクラシック、ジャズと多岐にわたります。

残念なのが、まれに音源の音質が悪いことです。良い曲であっても録音状態が悪く雑音が多いとそれだけで聴きづらい曲となってしまいます。

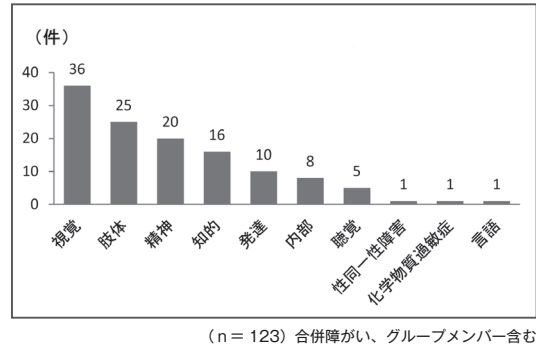
応募者の年齢層

例年30代の応募が多い中、今年は40代がトップ。50～60代の応募も増えました。



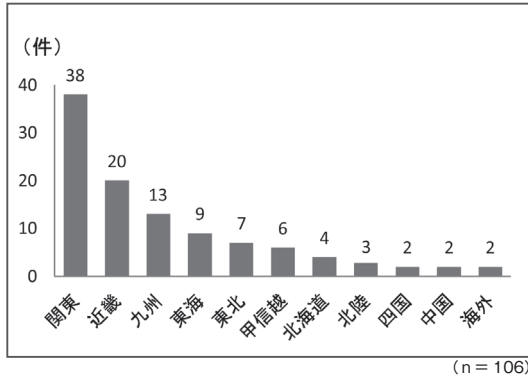
障がいの種類

視覚障がい者の応募が多い中、今年は初めて性同一性障がい者からの応募がありました。



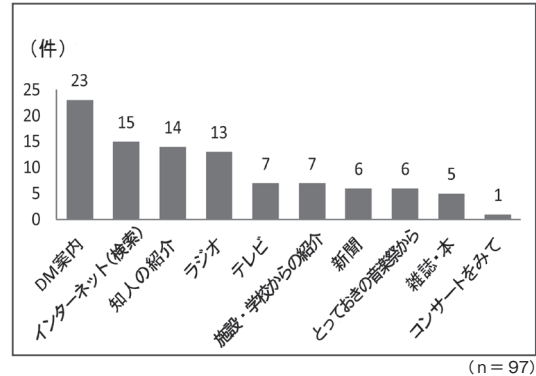
応募者の出身地

例年通り関東（主に東京）からの応募がトップですが、九州からも増えて来ています。



応募のきっかけ

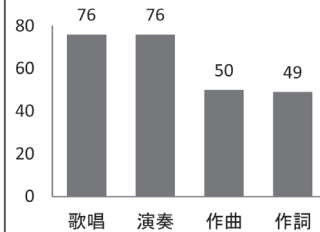
ネット検索やテレビ・ラジオで聴いて初めてGCを知ったという応募者が増えました。



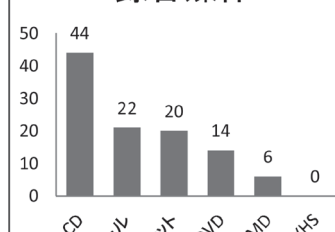
応募曲について

オリジナルが6割を超え、作詞・作曲を行う障がい者が半数を占めました。録音媒体についてはCDが最も多く、比較的音源も良好です。

障がい者楽曲役割



録音媒体



ゲスト紹介

～特別ゲスト～ 嘉門 達夫



1959年大阪府生まれ。フォークソングとラジオの深夜放送、大阪万博に多大な影響を受けて育つ。高校在学中に笑福亭鶴光師匠に入門、のちに破門。その後、ライブ活動始める。「嘉門達夫」の名はサザンオールスターズ桑田佳祐氏の命

名。1983年「ヤンキーの兄ちゃんのうた」でデビュー。以降、「小市民」「鼻から牛乳」「替え唄メドレーシリーズ」などヒット曲多数。1992年NHK紅白歌合戦出場。2007年小説「た・か・く・ら」（扶桑社）発表。2時間ドラマ化となる。2010年上海万博日本産業館応援団長就任。FM大阪「カモン!EXPO大作戦」毎週木曜日21時～22時オンエア中。テレビ東京系ネット「ピラメキーン」で『アホが見るブタのケツシリーズ』がオンエアされてから、さらにファン層は拡がり、いまやお子様が大ブレイク。4月からはフジテレビ系ネット人気バラエティ番組「ピカルの定理」パチモンマーチのコーナーに出演。

音楽活動以外にテレビ、ラジオ、執筆活動など果敢に走り続ける53歳。「生涯現役」をテーマに精力的に活動中。

2010年	1月20日	シングル 「さくら咲く」
	3月24日	セレクトアルバム 「“笑い”のさくら咲く～ギャグセレクト～」
	4月21日	セレクトアルバム 「“恋”のさくら咲く～恋愛セレクト～」
2011年	3月23日	セレクトアルバム 「“青春”のさくら咲く～スクールセレクト～」
	5月25日	東日本大震災チャリティーシングル 「希望のマーチ」
	7月21日	(土用の丑の日) シングル「うな太郎の大冒険」
	12月14日	シングル「アホが見るブタのケツ～ベスト～ / 鼻から牛乳～キッズバージョン～」
2012年	5月23日	ライブ&トーク&ロケ&お宝・特典映像DVD 「嘉門達夫のワーッ!!!」

オフィシャルホームページ◆ <http://www.sakurasaku-office.co.jp>

～ゲスト～ 麻倉 ケイト

性同一性障がい、シンガーソングライター。

小学校2年生の頃から、体は男性、心は女性ということに気づきながらも心の中を隠し、2002年より男性シンガー、KEITAとして活動。第6回上海アジア音楽祭で新人部門日本代表として優秀新人賞を受賞。テレビのバラエティ番組にも出演するなど、メディアでも注目を集め始めていた。

2007年の「24時間テレビ」に生出演で歌ったメッセージソングに多くの悩める人たちからの反響があり、本当の自分を偽っていることが苦しく、悩んだ末、7回連続で出演していた滋賀医科大学の学園祭「若鮎祭」のステージ上でカミングアウトした。(その後も若鮎祭に出演、今年10月には10回目となる。)

そして、多くのはげましや応援を後押しに2010年4月、手術を受け、それ以後本来の自分の姿で再出発。現在はシンガーソングライター「麻倉ケイト」として注目を浴びている。

審査員

<審査員長>

湯川れい子：音楽評論家・作詞家

<特別審査員>

吉岡 正晴：音楽評論家

Goh Hotoda：録音エンジニア・プロデューサー

<審査員>

阿部 恒世：WAWAWA 編集長

工藤 由美：音楽ジャーナリスト

仲川 一昭：福祉の管弦楽団まごころ・

オーケストラ「響」代表・指揮者

NPO 福祉ネットワーク「結」

萩原 岳：ナレーター、メディアプランナー、
(株)ファイブメディア事業部事業部長

畠山 卓朗：早稲田大学人間科学学術院教授

……現在、ご承諾いただいた方々です。

ゲスト紹介

～特別ゲスト～

NOKKO



- 1963年** 埼玉県出身。
- 1984年** REBECCAのボーカルとしてデビュー
- 1985年** 「フレンズ」収録の4枚目のアルバム『REBECCA IV ～Maybe Tomorrow～』をリリース。売上はミリオンセラーを記録して一躍名を広める事になる。
- 1991年** バンド解散後ソロとして活躍。
- 1994年** ソロとして代表曲となる「人魚」を発表。
- 2002年** 音楽のミキシングやプロデューサーとして活躍するGOH HOTODA氏と結婚。
- 2003年** アルバム「宇宙ノコモリウタ」発表
- 2006年** 長女を出産。
- 2010年1月** デビュー25周年を記念したカバーアルバム「KISS」をリリース。
iTunes storeのアルバムチャートでは1位を獲得。
- 2011年3月** 静岡県庁健康福祉部「ふじさんっこ応援キャンペーン」TV-CFイメージソングの新曲「ゆうぐれなき(don't cry baby)」がiTunes storeにて限定販売される。
現在ニューアルバムの制作中

司会



ホーキング青山

<プロフィール>

1973年(昭和48年)12月7日 東京大田区に生まれる。先天性多発性関節拘縮症のため、生まれたときから両手両足は使えない。中学、高校時代に聞いていた『ビートたけしのオールナイトニッポン』以来、大ファンだったビートたけしに憧れ、1994年6月に大川興業主催の若手芸人コンテスト『すっとこどっこい』で、“史上初の身体障害者のお笑い芸人”「ホーキング青山」としてデビュー。2001年2月にビートたけしが審査委員長を務める東京スポーツ新聞社の『第2回ビートたけしのエンターテインメント賞』の『日本芸能大賞』を受賞。2009年9月、最新刊『差別をしよう!』(河出書房新社)発刊。芸能活動の一方、障害者の目線による理想の介護を目指し2009年4月に『訪問介護事業所 ENJOY』を設立。2012年5月より、隔月での定例ライブ『ホーキング青山プロモーションのお勉強会』を開催中。



村松 加王里 (フリーアナウンサー)

<プロフィール>

静岡第一テレビ(日本テレビ系列)の番組司会でデビュー。番組進行、ニュースなど全般を担当し基礎を身につける。その後フリーとなり、NHKやその他民放局のリポーターなどを担当。現在はパーティー各種・式典・イベント・結婚式司会・ライターなども務めている。著書「しゃべらない会話術」青月社出版2012年7月発刊。

第8回ゴールドコンサート(2011年) グランプリ受賞 森 圭一郎 紹介



撮影：川津貴信

プロフィール *Profile*

1978年埼玉生まれ。16才の夏に事故で車椅子生活に。一度は外出もできなかったが音楽に助けられ今では年間200日国内外問わず歌を歌い旅を続け、学校講演なども行っている。ブルース、ロック、ソウルなど様々な音楽に影響を受け、自身の生き様を歌詞にし魂の叫びで歌いあげる。2003年から日本全国ツアーを毎年行い、2012年夏にはアメリカツアーも行う。7枚のアルバムリリース、書籍などもリリースしていて、最近では映画音楽なども担当している。

活動スケジュール

6月3日	仙台とっておきの音楽祭
6月9日	那須 SHOZO Cafe 音楽室
6月17日	秋田ウェディングヒルズ御所野
7月2日	柏パルーザ
7月4日	第9回ゴールドコンサートイベント
7月8日	武蔵村山 謝謝 祭
7月17日	柏崎市産業文化会館
8月2日	アメリカ横断ツアースタート

インタビュー *Interview*

Q1 第8回ゴールドコンサート応募・出場のきっかけをお聞かせください。

ずっとゴールドコンサートの事は気になっていて、いつか出演できたらな、と思っていました。その気持ちが大きくなって、今回は応募してみようと思いました！

Q2 第8回ゴールドコンサートの演奏前はどのようなお気持ちでしたか？

とにかく緊張していました。今まで一番緊張したくらい！ただいつものように自然でいようと考えていました。どのライブも同じような自然な気持ちで臨む、これが自分にとって大切な事なのです。

Q3 グランプリを受賞されて、どのようなお気持ちでしたか？

ステージで雄叫びあげてしまいました(笑) 皆さん出場されている方がとても素晴らしいのでグランプリはただけないだろうと思っていましたが、途中から闘志が湧いてきてぜったいに優勝したい!! って思っていたのでステージで自分の名前が呼ばれた時にイヤッター!! って感じでした。



撮影：川津貴信



撮影：川津貴信



撮影：晴山寛子

演出家からのメッセージ

中村 龍史 (なかむら りょうじ) / 演出家 振付家 作家

劇団四季の研究生(第4期生)を経て、1981年、コンサートの構成・演出・振付を一人で手がける演出家としてデビューする。

そのステージの華麗さ、巧みな構成、卓越したアイデア、ストーリー性のある振付で、松任谷由実や小林幸子から、東京パフォーマンスドールなどの時代のアイドルまで、実に幅広いジャンルのコンサートをショーアップし、各方面で高い評価を獲得した。

その後、オペラ、ミュージカル、演劇、吉本新喜劇、など250本以上の様々な舞台を演出する。

2001年から筋肉(マッスル)ミュージカルに取り組み、2007年夏公演までの総ての構成・演出・振付を手がけ、「マッスルミュージカル」の舞台表現の基盤を創り上げた。日本発のオリジナルミュージカ

ルとして05年、07年、ラスベガス公演も成功させた。アスリートのパフォーマンスに中村流の笑いを加味した「マッスル」を更に進化させる為、08年、元マッスルミュージカルのメンバーと共に中村 JAPAN ドラマティックカンパニーを設立し、アスリートをエンターテイナーに育成するとともに、舞台のジャンルとしての「マッスル」の確立を試みている。

中村の持つオリジナリティと、その守備範囲の広さ、又、国体までエンターテインメントにする手腕から、エンターテインメント作家とも呼ばれている。



メッセージ Message

僕がゴールドコンサートを初めて体験したのは、昨年の10月、第8回公演でした。何故体験かと言うと、このコンサートはただ者ではないからです。

以前、僕はプロのアーティストやアイドルのコンサートの演出も数多く手掛けました。それらとゴールドコンサートの違いは、それぞれの出場者の音楽に対する姿勢でした。クオリティーの高さにもびっくりしました。目が不自由であったり、知的障がい、肢体不自由、いろいろな障がいを持った方たちの、いきいきと音楽を楽しんでる姿と、障がいの存在が、より強く、より個性的な音楽性を引き出しているように思えました。「音楽」と言う文字は、音を楽しむと書きます。出場者は皆それぞれの条件で音を楽しんでいて、嫉妬さえ感じました。これこそ音楽の原点です。

今回、第9回ゴールドコンサートに僕は演出として参加します。僕の仕事は人々に舞台を観て感じて頂いて、明日への活力にしてもらおう事です。

ゴールドコンサートは、障がい者が健常者に、元気と云う御馳走を振る舞う、そんな素晴らしいコンサートです。今回は僕の得意技、「笑い」を箸休めとして楽しんで頂きたいと思います。

「音」を楽しむ「音楽」がここにはあります。是非一度足をお運び下さい、今まで感じた事の無い、素晴らしい音楽の世界が体感出来ます。

中村 龍史

ゴールドコンサート出場者関連イベント

ゴールドコンサートに出場されたミュージシャンの方々が各地で活躍されています。その内容の一部を今回ご紹介いたします。

第8回ゴールドコンサートゲスト出演記念 ヴァイオリニスト 穴澤雄介 ソロライブ

日時♪ 2011年8月31日
会場♪ MD. ネットクリニック AKASAKA
出演♪ 穴澤 雄介 (GC7 グランプリ)
主催♪ MD. ネットクリニック

内容♪ MD. ネットクリニック内にある素敵なロビーをお借りし、穴澤雄介さんのソロライブを開催しました。30名程のお客様にご来場いただき、穴澤さんのヴァイオリンの調べを堪能させていただきました。



穴澤雄介

森圭一郎 第8回ゴールドコンサート グランプリ受賞記念コンサート

日時♪ 2012年1月27日
会場♪ ノビルデューカ六本木
出演♪ 森 圭一郎 (GC8 グランプリ)
主催♪ NPO 法人日本バリアフリー協会

内容♪ 第8回ゴールドコンサートグランプリ受賞を記念して、ノビルデューカ六本木にて森圭一郎さんのライブを開催しました。同時に第9回ゴールドコンサート記者発表を行いました。



森圭一郎

アドビ システムズ株式会社 関連イベント

アドビ システムズ 株式会社が主催するイベントに参加しました。



大石亜矢子

日時♪ 2011年8月、10月、2012年5月
出演♪ 大石 亜矢子 (GC5 グランプリ)

第12回 とっておきの音楽祭 2012

毎年ゴールドコンサートグランプリ受賞者がフィナーレで演奏させていただく、協力関係にあるイベントです。森さんが市民広場と名誉あるフィナーレで演奏しました。

会場♪ 仙台市内各会場
出演♪ 森 圭一郎 (GC8 グランプリ)

※第8回ゴールドコンサート会場で実施した「東北応援キャンペーン」でいただいたご寄付は、「とっておきの音楽祭 2012」へ出場した森圭一郎さんの旅費交通費として使用しました。ご協力ありがとうございました。

サポート講習会

障がい者の音楽コンテストであるゴールドコンサート開催するにあたり、毎年200人以上のボランティアが参加する中で、より障がい者への理解とサポートの充実を図るために障がいを持つ方ご本人やご家族から実体験に基づいたサポートの方法等を講演していただいております。講演内容は毎回様々で一風変わった内容も行っております。ご興味のある方は、ぜひご参加ください！またホームページにもアップしていますのでご覧ください！

第12回サポート講習会

日時♪ 2012年2月21日
講師♪ 友野 龍士 様 (軽度の知的障がい)
和太鼓演奏者 (「The J.B.f」の一員として GC4 グランプリ)
テーマ♪ 友野さんと太鼓との出会い等

第13回サポート講習会

日時♪ 2012年3月21日 (水)
講師♪ 渡邊 惟大 様 (筋ジストロフィー・デュシェンヌ型)
テーマ♪ ハワイ州障がい学生支援とバリアフリー状況の視察



第12回サポート講習会
友野氏



第13回サポート講習会
渡邊氏

第9回ゴールドコンサート協力者の皆様 (2012年6月12日時点)

50音順(後援を除く)(以下、敬称略)

補助事業

財団法人 JKA

助成

スキャンジナビア・ニッポン ササカワ財団
公益財団法人日韓文化交流基金
(공익재단법인 일한문화교류기금)

プレミアム協賛

アイエスエフネットグループ
トルコ航空(オフィシャルキャリア)

協賛

アステラス製薬株式会社
アドビ システムズ 株式会社
株式会社 MD. ネット
株式会社大塚商会
公益財団法人オリックス財団
関西学院大学
キッコーマン株式会社
キュービー株式会社
協友印刷株式会社
株式会社 KDDI チャレンジド
国際ソロプチミスト川崎
株式会社コヤマドライビングスクール
株式会社コンサルフラッグ
塩野義製薬株式会社
日本航空
日本コムシス株式会社
日本信号株式会社
株式会社日本テレソフト
バイオニア株式会社
株式会社フォーシース
有限会社フジオート FUJICON
株式会社フジテレビジョン
Meiji Seika ファルマ株式会社
明治安田生命保険相互会社
株式会社 和僑
医療法人和楽会
※この他に30名の個人協賛をいただきました。

協力

株式会社エイチ・アイ・エス
FMC ワッホー編集部
株式会社クラッチ
有限会社 GO and NOKKO
株式会社 SAITEC
有限会社さくら咲く
株式会社 Jストリーム
シャープ株式会社
社会福祉法人太陽会 しょうぶ学園
デンマーク筋ジストロフィー協会
東京地下鉄株式会社
とっておきの音楽祭実行委員会 SENDAI
財団法人日本青少年文化センター
ハサン障害者福祉館
バンローリング株式会社
株式会社メディカルフォーラム
Yahoo! ボランティア
株式会社レイジースーザン
有限会社レインボーミュージック
六本木 Blues Dog Café

後援

厚生労働省
文部科学省
東京都
千代田区
社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団
社会福祉法人視覚障害者支援総合センター
社団法人日本筋ジストロフィー協会
公益社団法人日本フィランソロビー協会
全国自立生活センター協議会

組織委員会

会長 野田 聖子 衆議院議員

名誉顧問 エーバルド・クロー デンマーク筋ジストロフィー協会会長

顧問 長谷川 岳 参議院議員
平松 一夫 関西学院大学教授

理事 足立 昇平 株式会社 SAITEC 代表取締役
荒 義彦 アレクサンドル カルチャ・コンビニエンス・クラブ株式会社
商品・エンタテインメント事業本部
商品開発部ビジネスカレッジプロデューサー

伊藤 和博
今福 義明
奥山 俊博
貝谷 嘉洋
金子 秀明
黒崎 隆
小林 るつ子
斎藤 省
下山 晴彦
鈴木 麻美子
高木 真
高橋 久
高橋 実
高橋 陽子
竹中 ナミ
寺田 学
仲川 一昭

長崎 栄
西野 弘
野澤 勝
船後 靖彦
Peter David Pedersen
馬渡 徹郎
宮本 修
安田 武晴
山下 桜
吉井 勇
吉井 康雄

株式会社 SAITEC 代表取締役
カルチャ・コンビニエンス・クラブ株式会社
商品・エンタテインメント事業本部
商品開発部ビジネスカレッジプロデューサー

アクセスジャパン代表
東京大学先端科学技術研究センター特任研究員
NPO 法人日本バリアフリー協会代表理事
株式会社日本テレソフト社長
弁護士
玩具福祉学会理事長
有限会社さいとう工房社長
東京大学大学院教育学研究科 臨床心理学コース教授
株式会社マグナ代表取締役
財団法人日本チャリティ協会
日本アムウェイ
社会福祉法人視覚障害者支援総合センター理事長
公益社団法人日本フィランソロビー協会理事長
社会福祉法人プロップステーション理事長
株式会社 CMS コミュニケーションズ代表取締役社長
福祉の管弦楽団まごころ・オーケストラ響(ゆら)代表・指揮者
NPO 福祉ネットワーク「結」
株式会社ダイレクト インブット
株式会社プロシード社長
株式会社コヤマドライビングスクール二子玉川校副校長
有限会社ケアドゥ 訪問介護ステーション 虹の橋
株式会社イースクエア代表取締役社長
NPO 法人音の羽根理事長
株式会社光文社
読売新聞
バイオニア株式会社
株式会社ニューメディア 月刊山下メディア編集長
株式会社スポーツニッポン新聞社

実行委員会

実行委員長 貝谷 嘉洋
NPO 法人 日本バリアフリー協会代表理事

委員 石川 絵理 須江 好美 廣川 麻子
李 宰権 鈴木 雅弘 福島 浩太
大木 聖薫 須藤 貴士 福島 敏子
大原 貴子 関口 京子 榎谷 愛子
大山 絲子 関本 友紀 堀 隆三
岡部 寛美 相馬 優一郎 前川 めぐみ
柏木 雅枝 高野 康子 松繁 卓哉
北川 知彦 崔 仙姫 三田 隆広
金 圓景 土井 葉月 宮下 あけみ
金 美寧 中根 克 村上 恭子
小酒 真由子 成澤 俊輔 村松 加王里
小西 明宏 西口 久美子 森泉 侑子
斎藤 日登美 布川 清彦 山崎 等
篠原 智子 濱田 朝美 山本 真也
嶋川 史剛 韓 星民 渡邊 武晴
下村 大介 半田 朋美 渡邊 裕介

事務局 貝谷 嘉洋 長谷川 洋介
荒 良英 服部 寛庸
諏訪間 裕子 日比野 悟知
布村 沙那子

主催 NPO 法人日本バリアフリー協会/政策研究所

第8回ゴールドコンサート協力者の皆様

50音順(後援を除く)(以下、敬称略)

補助事業

財団法人 JKA

助成

財団法人日韓文化交流基金
日韓共同未来プロジェクト事業
(재단법인 일한문화교류기금
일한 공동미래 프로젝트 사업)
他 匿名希望 1社

後援

厚生労働省
文部科学省
東京都
千代田区
社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団
社会福祉法人視覚障害者支援総合センター
社団法人日本筋ジストロフィー協会
公益社団法人日本フィランソロビー協会
全国自立生活センター協議会

協賛 <企業・団体>

アドビ システムズ 株式会社
エイチスリー 訪問マッサージ
株式会社 MD. ネット
株式会社大塚商会
公益財団法人オリックス財団
株式会社ガウディ
関西学院大学
キッコーマン株式会社
キュービー株式会社
KDDI 株式会社
株式会社 KDDI チャレンジド
国際ソロプチミスト川崎
株式会社コヤマドライビングスクール
サントリー食品インターナショナル株式会社
損保ジャパン ちきゅうくらぶ
東神電気株式会社
日本航空
日本コムシス株式会社
株式会社日本テレソフト
パイオニア株式会社 身体で聴こう音楽会
ファイザー株式会社
株式会社フォーシーズ
有限会社フジオト FUJICON
株式会社フジテレビジョン
Meiji Seika ファルマ株式会社
医療法人和楽会
他 匿名希望 1社

協力

いっぽ
株式会社エイチ・アイ・エス
有限会社エフ・アールマーケティング
特定非営利活動法人オハイエ・プロダクツ
オフィス風有限会社
カンナム障害者福祉館
クウォーターズクラブ
グリーンスタンプ株式会社
株式会社光文社
株式会社 SAITEC
サムステンレコムジャパン株式会社
株式会社 Jストリーム
シャープ株式会社
スタンダードチャータード銀行
株式会社ダイバストリート
株式会社テイチクエンタテインメント
デンマーク筋ジストロフィー協会
東京国際大学
東京大学教育学部附属中等教育学校
とっておきの音楽祭実行委員会 SENDAI
ハサン障害者福祉館
パンローリング株式会社 朗読音声書籍『でじじ』
株式会社プラチナム・パスポート
ブルームバーグ L.P.
株式会社マグナ
三菱 UFJ 信託銀行
明治安田生命保険相互会社
株式会社モンベル mont-bell
Yahoo! ボランティア
株式会社レイジースーザン
WorldShift KOBE

協賛 <個人>

安部 岩子
阿部 恒世
新居 倫子
安藤 勇寿
磯田 真一
今泉 至明
内田 千代子
浦田 泉
長田 恵里乃
小山 裕子
加藤 進昌
加藤 喜昭
河端 静子
北原 恵美
久保木 富房
近藤 俊英
近藤 功一
佐々木 司
清水 千佳代
都築 輝子
恒藤 晃
中田 恵子
西川 將巳
西澤 賢
二宮 一夫
埜村 義一
萩原 岳
島山 卓朗
春見 静子
福澤 利夫
福島 浩太
福島 敏子
堀内 陽子
松澤 美津子
森 昭弘
山崎 一世子
山名 勝
山本 捷一
山本 昌邦
湯川 れい子
吉井 勇
吉崎 久江
吉崎 英雄
吉田 栄治
渡邊 裕介
他
匿名希望 10名

競輪補助事業完了のお知らせ

KEIRIN 00

この度平成二十三年度の競輪の補助金を受けて、左記の事業を完了いたしました。

記

一、事業名

平成二十三年度

障がいを持つ人が幸せに暮らせる社会を作る活動 補助事業

一、事業の内容

第八回ゴールドコンサート

一、補助金額

四六七〇六四六円

一、実施場所

東京国際フォーラム ホールC

一、完了年月日

平成二十四年一月六日

(特非) 日本バリアフリー協会

代表理事 具谷嘉洋



撮影：川津貴信



森 圭一郎

シンガーソングライター、第8回ゴールドコンサートグランプリ受賞者。8月より“アメリカ横断ツアー”に出発、各主要都市でライブを行う。ツアーのゴールと位置付ける第9回ゴールドコンサートに凱旋出演。

出演 森 圭一郎
(第8回ゴールドコンサートグランプリ)

山本 真也
(障がい者アスリート
ゴールドコンサート実行委員)

司会 村松 加王里
(ゴールドコンサート司会者)

参加費 3,500円
(飲み放題/軽食あり)

完全予約制(先着順)

ご予約・お問合せ先: NPO 法人日本バリアフリー協会
TEL: 03-5215-1485 / FAX: 03-5215-1735
E-mail: info@npojba.org



**第9回 ゴールドコンサートプライベート
森 圭一郎 アメリカ横断ツアー 壮行会
山本 真也 障がい者アスリート**

日時: 2012年7月4日(水)
18:00 開場 18:30 開始 21:00 終了予定
会場: The 1633 tokyo (旧六本木ノビルデューカ) TEL: 03-3568-1023

主催 NPO 法人日本バリアフリー協会
協力 株式会社レイジースーザン/
The 1633 tokyo /
株式会社フォーシーズ

The 1633 tokyo
(旧六本木ノビルデューカ)

〒106-0032 東京都港区六本木 3-16-33
青葉六本木ビル B1

- ◎東京メトロ日比谷線 六本木駅 徒歩5分
- ◎都営大江戸線 六本木駅 徒歩5分
- ◎東京メトロ南北線 六本木一丁目駅 徒歩7分



山本 真也
障がい者アスリートとしてセーリング競技で活躍。ゴールドコンサート実行委員として長年にわたり協力。主にインターネット生放送担当、WEBアクセシビリティアドバイザーとして活躍。

ボランティアスタッフ募集のお知らせ

障がいをもつミュージシャンの音楽イベント「第9回ゴールドコンサート」の運営を有志でお手伝いしていただける方を探しています。(昨年の第8回ゴールドコンサートでは、学生さんから社会人の方まで約250名の方にご参加いただきました)

日時

2012年9月22日(土・祝)

午前9時頃から午後9時頃まで終日お手伝いいただける方
ただし仕事内容によっては時間が早まったり、お昼からの参加となる場合があります
事前準備の段階からご参加いただける方も併せて募集します

仕事の内容

障がいをもつ出場者や舞台裏の手伝い、来場者の受付・案内
機材の搬入搬出、会場警備、レポート係、その他
当日までの準備 [ご参加いただける方]
※事前説明会を予定(9月8日(土))
※経験は問いません。障がい者の方も歓迎。
※手話、英語、韓国語(デンマーク、韓国のミュージシャン出場予定のため)の出来る方歓迎

会場

東京国際フォーラム ホールC 【最大座席数 1502席】

(東京都千代田区丸の内3-5-1)

JR線 有楽町駅より徒歩1分 東京駅より徒歩5分

コンサート当日の諸条件

ボランティア保険: 万一の事故に備え、主催者側で一括加入。
弁当・飲み物支給あり、交通費の支給なし

実行委員の募集も行っております。

第9回ゴールドコンサートの事前準備から参加いただける方も募集しております。企画・告知宣伝・当日運営などの主導的役割を務めていただきます。
詳しくは右記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

NPO 法人日本バリアフリー協会 ゴールドコンサート事務局
〒102-0093 東京都千代田区平河町1-7-16 ビュロー平河町801号
TEL: 03-5215-1485 FAX: 03-5215-1735
E-mail: volunteer@npojba.org
URL: http://www.npojba.org

ご希望の方は下記申込書にもれなくご記入の上、事務局までFAX又はメールでご送付下さい。(※応募者多数の場合、締切前に募集を終了する場合があります。)

締切 2012年
8月20日(月)

ボランティア申込書

送付先 Fax: 03-5215-1735 または Email: volunteer@npojba.org

(フリガナ) ※氏名		性別	男・女
	当協会ホームページ上・会報等で名前の掲載は可能ですか? <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 当協会からお知らせ(ご案内・活動報告等)をメールにてお送りしてもよろしいですか? <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	年齢	
※連絡先	〒		
	連絡には主として「Eメール(パソコン)」を使用しますが、支障のない限り下記連絡先は全てご記入下さい。 Eメール(パソコン): _____ 携帯電話: _____ Eメール(携帯): _____ F A X: _____ <small>情報の多いご案内もあるため、出来る限りEメール(パソコン)のご利用をお願い致します。ご連絡を頂いてから1週間以上たっても登録完了のお知らせがない場合には事務局までご連絡下さい。</small>		
勤務先・学校名(その他)			
※参加可能な時間: (次の1,2のなかで該当するもののみを残す)	1. 事前の準備(2012年7月~コンサート当日まで間の都合のつく時)から参加したい。 2. 2012年コンサート当日 終日(9:00頃~21:00頃)のみ参加を希望		
☆質問1から3にお答え下さい	1. ボランティア経験はありますか? <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 2. 過去にゴールドコンサートを手伝ったことがありますか? <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ ※あると答えた方は第何回のゴールドコンサートですか? _____ 回目 3. その他経験内容(手話等) _____		
◎ その他特に伝えておきたい点など			

*がついているところは必須項目です。(ボランティアの連絡以外にご記入頂いた個人情報が使われることはありません。また、情報の漏洩を防止するため、必要な措置を講じ、個人情報を適切に管理いたします。)

第9回 ゴールドコンサート

チケット発売中

日時 **2012年9月22日(土・祝)**
開場 / **15:30** 開演 / **16:30**

チケット申込み
0570-02-9999
《Pコード 621-391》

会場 **東京国際フォーラム
ホールC**

座席 **SS席指定 5,000円**
S席指定 3,500円
A席自由 (高校生以下無料) 2,000円
車いす席 2,000円
体感音響システム対応席* 2,000円

*重低音振動が身体に伝わる聴覚障がい者用の音響システム。
(磁気誘導ループ併用可能)

★無料席・車いす席・体感音響システム対応席をご希望の方は
事務局に要事前申込。(必要な方介添者1名無料)

★手話通訳・パソコン文字通訳あり。

★ご希望の席をご用意できない場合があります。

高校生以下無料招待

なお、A席のみ高校生以下の児童・生徒および引率の保護者・教員は無料で招待します。子供たちに障がい者の活躍する姿を見てもらい、理解を深めてもらえれば幸いです。なお、事務局に事前申し込みが必要です。

お問合せ

NPO法人日本バリアフリー協会
ゴールドコンサート事務局

〒102-0093

東京都千代田区平河町1-7-16 801号

TEL:03-5215-1485

FAX:03-5215-1735

E-mail:info@npjba.org

URL:http://www.npojba.org



<発行所> 〒157-0037東京都世田谷区砧6-26-21

特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会 定価 50円

編集人 〒102-0093東京都千代田区平河町1-7-16 801号

特定非営利活動法人日本バリアフリー協会代表理事 貝谷嘉洋

障がい者の音楽コンテスト
第9回 ゴールドコンサート
2012年9月22日(土・祝) 15:30開場 16:30開演
東京国際フォーラム ホールC (バリアフリー対応会場)

音楽は、バリアフリーだ。

ゲスト出演:
森圭(前回グランプリ受賞者)

■審査員長:湯川れい子(音楽評論家・作詞家) 演出:中村龍史 制作・総指揮:貝谷嘉洋
■チケット申込み:チケットぴあ(0570-02-9999) Pコード621-391
■SS席指定:5,000円 ■S席指定:3,500円 ■A席自由:2,000円(高校生以下無料)
■車いす席:2,000円 ■体感音響システム対応席:2,000円
■重低音振動が身体に伝わる聴覚障がい者用の音響システム(磁気誘導ループ併用可能)。
※無料席・車いす席・体感音響システム対応席をご希望の方は事務局に要事前申込
(必要な方介添者1名無料) ※手話通訳・パソコン文字通訳あり
■主催:NPO法人日本バリアフリー協会/政策研究所
■後援:厚生労働省/文部科学省/東京都/千代田区/社会福祉法人NHK厚生文化事業団
社会福祉法人視覚障害者支援総合センター/社団法人日本筋ジストロフィー協会/公益社団法人日本フロンソサライ協会
全国自立生活センター協議会/フレミア協賛:アイエスネットグループ/トピコ航空(オアシスレキヤア)
■協賛(50音順):アステラス製薬株式会社/アドシステムズ株式会社/株式会社MDI/ネッド株式会社/東海商会
公益財団法人オサックス財団/関西学院大学/キョーエフ株式会社/エコー株式会社/協友印刷株式会社
株式会社KDDIチャレンジ/国際ソロプチミスト川崎/株式会社コヤマドライ/シグマスクール/株式会社コンサルフラッグ
鬼野義興製菓株式会社/日本航空/日本コムス株式会社/日本信号株式会社/株式会社日本テレソフト/ハイオニア株式会社
株式会社フォーシーズ/有限会社フジオート EJI/ICON/株式会社フジテレビジョン/Meiji Seika ファルマ株式会社
明治安田生命保険相互会社/株式会社 相模/医療法人相模会 ■助成:スカンジナビア・ニッポン・サカサワ財団
公益財団法人日韓文化交流基金(韓国財団) 日韓友好協会(韓国) ■補助事業:財団法人JKA ■写真撮影:ヒグキネト
■ポスター制作:tomoto

特別ゲスト出演:森圭

特別ゲスト出演:NOKKO

スポンサー:KUBIKIRI, TURKISH AIRLINES, ゴールドコンサート, jiba

ポスター制作:tomoto

■合理的配慮・情報保障について

当日は車いす席、体感音響システム対応席、手話通訳、パソコン文字通訳、点字ちらし、点字プログラムも用意しており、障がいをもつ皆様に楽しんでいただけるよう準備しております。

■インターネット生放送

また、会場に来られない方のためにインターネット生放送を行います。当日のゴールドコンサートの模様を全世界へ向けて配信いたします。下記アドレスにアクセスをしてご覧ください。

アドレス:<http://gc.npojba.org/live>

日時:平成24年9月22日(土・祝) 16:30よりスタート

■この事業は、競輪の補助を受けて実施します。